

- 水道事業ビジョンに掲げる事業の取組み状況、目標に対する達成状況を評価するため、事業評価（計画・実績評価）を実施します。
（各課評価→事務局→幹事会→施策調整会議→管理者報告→重要事業に対する意見徴収（経営審議会）→公表）
- 事業評価は、令和８年度～令和１７年度までの期間に実施する全ての事業（５９事業）に対し実施します。
（評価は、Ａ～Ｄの４段階で行い、評価結果については、一覧表にて公表します）
- ５９事業のうち**重要な５つの事業については、経営審議会からの意見をいただき、個別に公表します。**

○事業評価（全59事業）一覧表

※安全9事業、強靱10事業、進化40事業

【評価基準】

《定量的に評価する事業》	《方針を示す事業》	《評価》
○達成率100%以上	○進捗している	⇒ A
○達成率80～99%	○概ね進捗している	⇒ B
○達成率50～79%	○やや遅れている	⇒ C
○達成率0～49%	○遅れている	⇒ D

3つの視点	施策の柱(全11)	施策(全24施策)	事業(全59事業)	事業評価・進捗管理												担当課	
視点	施策の柱(2)	施策(4施策)	事業(9事業)	項目	達成状況												
					R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17			
安全	水道水質管理の徹底	①水質管理の徹底	1. 管理排水箇所への自動水質監視装置の導入 (水道管末端までの水質基準確保)	計画													
				実績	実施												
				評価	A												
			2. 水道管内洗浄の実施(アイスピック) (赤水発生を防止するアイスシャベット工法の導入)	計画													
				実績	実施												
				評価	A												
		3. 配水施設の保全管理(ロボット清掃・清掃) (ロボットを使用した省人化とスピードアップを図る)	計画														
			実績	実施													
			評価	A													
		②給水装置の適正管理	4. 直結給水の促進 (直結給水方式適用要件緩和の実施)	計画													
				実績	実施												
				評価	A												
	5. 貯水槽管理の指導・助言 (法定検査の義務が及ばない小規模貯(受)水槽の無料点検の実施)		計画														
			実績	実施													
			評価	A													
	6. 宅地内鉛製給水管解消 (鉛製給水管取替工事補助金交付制度や鉛の人体への悪影響を広報し、解消促進を図る)	計画															
		実績	実施														
評価		A															
水源汚染リスク対策	③水源集水域の保護	7. 市民協働による水源保全活動の推進 (助成金支給による森林整備や清掃の促進)	計画														
			実績	実施													
			評価	A													
		8. 条例に基づく新たな開発や環境破壊の抑止	計画														
			実績	実施													
			評価	A													
	④水源の監視徹底	9. 水源施設の監視徹底 (監視カメラやネットワーク機器を使用した常時監視体制の徹底)	計画														
			実績	実施													
			評価	A													

水道事業ビジョン2026事業評価について(2/3)

令和8年7月29日
経営企画課

重要事業

視点	施策の柱	施策	公表対象事業 《担当課》	指標
安全	・水道水質管理の徹底	・水質管理の徹底	①管理排水箇所への自動水質監視装置の導入 《配水課》	①排水削減量(m³)
強靱	・施設の再編 ・災害への備え	・老朽施設の更新と耐震化	②老朽管更新事業と耐震化 《水道整備課》	②事業進捗率(%)
		・施設耐震化の推進	③上下水道耐震化事業 《水道整備課》	③耐震化率(%)
進化	・適切な資産管理 ・水循環の形成	・適正な施設維持管理	④人工衛星画像を用いた漏水リスク評価を反映した漏水調査 《配水課》	④有収率(%)
		・再生可能エネルギーの導入	⑤中央部受水池における小水力発電事業等の実施 《経営企画課》	⑤CO2削減量(kg-CO2/kwh)

なぜ、この事業が重要？

①管理排水箇所への自動水質監視装置の導入

水需要減少による水質悪化に対応する重要な取組み！

②老朽管更新事業と耐震化

老朽施設更新は待ったなし！

(ビジョンで掲げる重点事業)

③上下水道耐震化事業

救急医療機関・避難所等へ接続する管路の耐震化は必須！

(ビジョンで掲げる重点事業)

④人工衛星画像を用いた漏水リスク評価を反映した漏水調査

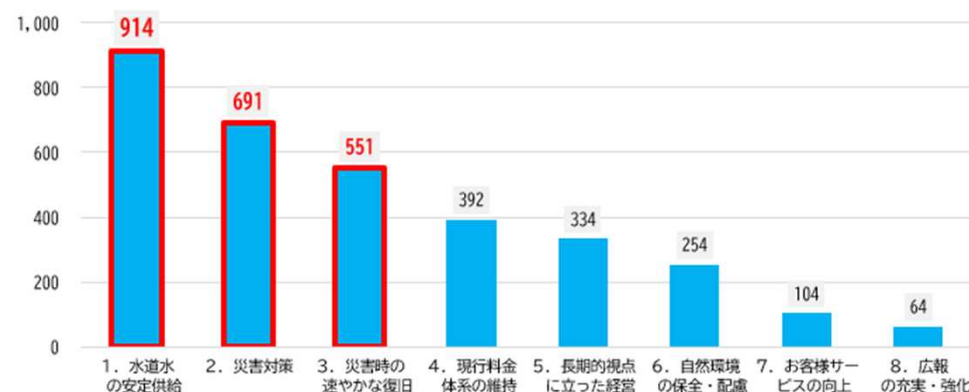
先進的な技術を用いた効果的な維持管理であり重要な取組み！

⑤中央部受水池における小水力発電事業等の実施

水道事業として2050ゼロカーボンを担う重要な取組み！

○市民の皆様が特に重要と感じている取組み 「水道水の安定供給」について積極的に発信

【問】今後の水道局の取り組みで、特に重要と感じることは何ですか。(あてはまるものを全て選択)



水道事業ビジョン2026事業評価について(3/3)

令和8年7月29日
経営企画課

重要事業の評価

【5つの重要事業の評価】

- 1 10年間の計画・実績を記載する→達成率そのものを記載
- 2 年度途中で軌道修正した取組みがあれば記載する
- 3 施策調整会議の評価・経営審議会の意見を踏まえた今後の方向性を記載する

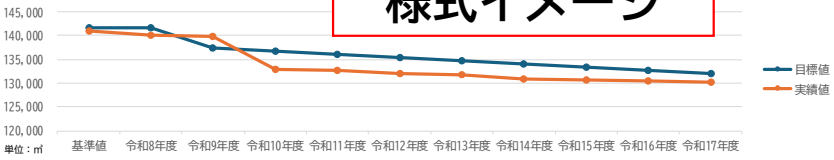
4 経営審議会の意見

(改善すべきことなど意見していただく)

- ※①審議委員の皆さんへ、事前に資料送付 → 令和9年6月中旬
- ②意見徴収(回答) → 令和9年7月上旬(7月中旬に回答)
- ③事務局で意見集約し経営審議会で報告 → 令和9年7月下旬

- 5 施策調整会議の評価・経営審議会の意見を踏まえた今後の方向性を記載する
- 6 ホームページ公表(10月予定/9月議会終了後)

③重要事業(5事業)の個別調書イメージ(個別調書・公表)

指標進捗管理担当		(主)	配水課		(副)					
成果指標		1. 自動水質監視装置の導入による排水量削減 (m³)								
1 成果指標の概要										
視点	安全		施策の柱		水道水質管理の徹底		施策		水質管理の徹底	
事業	管理排水箇所への自動水質監視装置の導入									
指標の説明	自動水質監視装置を導入することにより、年間管理排水量を削減し、有効無収水量を抑制した割合を示す指標。									
基準値 (令和6年度)	目標値の根拠							達成率	評価	
141,630	水質調査結果及び管理排水量の調整を、遠隔監視機能を備えた自動水質監視装置を導入し、箇所あたり年約0.5%の削減を想定し、10年間で率にして約8%、量にして約10,000m³の削減を目標値とする。							101.1%		
m³	【指標の算出方法】 年間排水量 = 前年度年間排水量 - (前年度年間排水量 × 0.5%)									
項目	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
目標値	141,630	141,630	136,694	136,011	135,331	134,654	133,981	133,311	132,644	131,981
実績値	141,000	140,090	132,000	130,500	132,000	130,500	130,900	130,800	130,500	130,300
達成率	100.4%	101.1%	103.6%	104.2%	102.5%	103.2%	102.4%	101.9%	101.6%	101.3%
【成果指標の実績値推移】										
様式イメージ  単位: m³										
2 成果指標の達成に向けた主な取り組み										
No	事業	管理排水箇所への自動水質監視装置の導入		事業費 (千円)	43,000		担当課	配水課		
1	具体的な 取組内容	環境変化に対応するため管理排水量の調整や、毎月実施している水質調査職員の業務量の負担軽減を図るため、自動水質監視装置の導入を進める。また、地理的条件による通信への影響や、リアルタイムな水質情報の公開を目的に検証を進める。 【取組内容】 自動水質監視装置の導入に係る実証実験(R9〇〇地区、〇〇地区へ導入)								
	年度途中 軌道修正 した取組 ※修正した場合のみ記載									
	取組成果	今年度は〇〇地区に1箇所、〇〇地区に1箇所導入した。 月の排水量は〇〇地区が〇〇m³減少したが〇〇地区は〇〇m³増となる結果となった。 排水量が増となった〇〇地区は、使用者の転出が〇件あり使用量が減少したことによるものと考えられる。 導入箇所の合算値では、目標値には至らなかったものの、〇〇m³減少し、成果が確認出来た。								
3 成果指標の達成状況に対する施策調整会議の評価										
施策は概ね計画に沿って進行しており、一定の成果が見られます。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。										
4 経営審議会の意見										
引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。										
5 施策調整会議の評価・経営審議会の意見を踏まえた今後の方向性										
引き続き導入を進め、従前の排水量との比較・分析を行い適切な水質管理を行う。										